

介護の仕事は専門的な知識と確かな技術を基に、利用者の方がより良い人生を送るための支援を行うこと。決して簡単な仕事ではありません。

だからこそ、やりがいに満ち、誇りを持って仕事に打ち込んでいる職員がたくさんいます。もし、介護の道に進みたいというお子様がいたら、ぜひその思いを応援してあげてください。

保護者のみなさま



石川県内の  
介護福祉士養成校

介護福祉士の資格取得を目指し、  
専門的な知識や技術を学ぶ養成校

介護の仕事は、訪問介護など一部を除き、特別な資格を持たなくても就くことができますが、より自信を持って働くためには、養成校で学んでから就職するのも1つの方法です。

**4年制**

**金城大学**

人間社会科学部  
社会福祉学科  
生活支援コース

白山市笠間町1200  
TEL 076-276-4400

**2年制**

**金沢福祉専門学校**

介護福祉学科

金沢市久安3丁目430番地  
TEL 076-242-1625

**2年制**

**専門学校アリス学園**

介護福祉学科

金沢市円光寺本町8番50号  
TEL 076-280-1001

今後ますます需要が高まる  
大切な仕事  
だけど、  
大変で厳しい仕事…

介護の仕事にそんな印象を持ち、  
お子様の将来として考えると  
不安に思う方もいるかもしれません

そんな保護者の方に読んでいただきたい 介護の仕事の今をお伝えします

養成校への進学を応援！  
介護福祉士修学資金等貸付制度

将来、県内の福祉施設等で介護福祉士として働くため、県内の養成校や福祉系高等学校で資格取得を目指す学生を応援する制度です。学費を無利子で貸与し、卒業後に原則5年間（福祉系高等学校の場合は3年間）、県内で介護業務に従事するなどの条件を満たすと返還が免除となります。



介護・福祉についてもっと知りたい！  
どんな資格や支援があるか知りたい！

石川県介護・福祉の仕事の魅力発信ポータルサイト「いしふく」では、介護・福祉分野で活躍する職員のインタビューや資格の情報、介護・福祉分野での就職をサポートする支援メニューを紹介しています。ぜひご覧ください。

**いしふく**  
ISHIFUKU

石川県介護・福祉の仕事の魅力発信ポータルサイト「いしふく」  
<https://www.ishi-fuku.jp/>

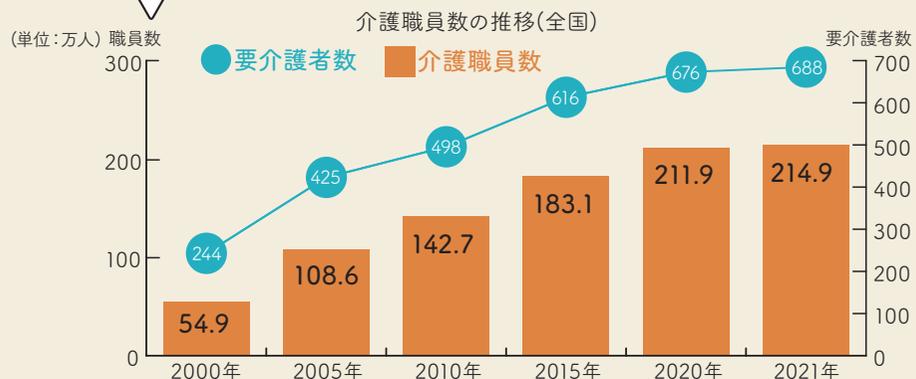
## 介護分野は成長産業

### 介護職員は増えている

「介護人材が不足している」たびたび耳にする言葉です。「不足」というと「減っている」と考えがちですが、介護の仕事に就く人は毎年増加しています。ただ、それ以上に介護を必要とする高齢者が増えていることから、介護人材が足りないという状況になっています。

高齢者の数は2040年頃にピークを迎えその後減少に転じますが、高齢化率は上昇を続けるため、介護の仕事はニーズの高い状態が続くと考えられます。

### 増加を続ける介護職員



【出典】厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」(介護職員数)、介護保険事業状況報告(要介護(要支援)認定者数)

### 保護者の方に聞きました

介護の仕事  
ここが心配!

成長産業と言っても実際に働くとしたらどうなの!?

子どもの進路として介護の仕事を考えてときに気になることについて、高校生の保護者の方に聞きました。

#### 身体的な負担が大きそう!

- ・夜勤や早番、遅番など、勤務時間が変則的で体調管理が大変そう。
- ・残業が多いイメージです。
- ・腰をいためる人も多いと聞くので心配です。

#### 離職率が高いって本当?

- ・辞める人が多いと聞きます。やっぱりきつい仕事なのでしょうか。

#### 賃金が低いと聞くけれど?

- ・大変な仕事の割に賃金が低いと聞きます。
- ・将来的に家庭を持って生活していけるのか心配です。

#### 将来、仕事と家庭を両立できるの?

- ・結婚や出産を機に辞める人も聞きます。
- ・結婚して子どもを持ったとき、子育てしながら仕事ができるのでしょうか。

#### 仕事にやりがいはあるの?

- ・高齢者のお世話は大切な仕事とは思いますが、やりがいがあるのかよく分かりません。

解説は次のページから!

## 多くの企業が介護分野に着目

少子高齢化の流れを受け、あらゆる産業が高齢者向けのサービスに着目、事業を展開しています。

例えば

### トヨタ

自動車の生産や産業用ロボットの技術を活かし、介護分野を含むあらゆるシーンで人をサポートするパートナーロボットを開発

### パナソニック

有料老人ホームや在宅介護サービスを提供しながら、メーカーとしての先進技術を活かし介護用品を開発

### SOMPO ホールディングス

有料老人ホームや在宅介護サービスを展開するほか、学術機関と連携し認知症に関する調査研究にも貢献

## ロボット・ICT技術で介護を優しく便利に!

今、介護の現場では介護職員の精神的・体力的な負担を少なくし、また高齢者にとっても便利で優しいロボット・ICT技術の活用が進んでいます。

### 排泄予測デバイス

排泄予測デバイスを使うと、利用者の排尿タイミングがわかるようになります。職員はそのタイミングに合わせたトイレの介助やおむつの交換ができ、何度も排尿をチェックする必要がなくなり、仕事の効率化や負担軽減につながります。利用者の中には自分が本当にトイレをしたいかわからない方もいますが、このデバイスを使用することで排尿タイミングを自覚でき、安心してトイレをすることができます。



### 移乗サポートロボット

移乗サポートロボットを使うと、ベッドから車いすへの移動や脱衣時の姿勢保持がしやすくなります。職員一人でも介助できるようになり、利用者の体重をロボットがサポートしてくれるので腰痛予防にもなります。利用者の中には職員を何人も呼んでサポートしてもらうことに遠慮してしまう方もいますが、このロボットを使えば一人で介助できるので、利用者が気兼ねなくサポートを受けることができます。

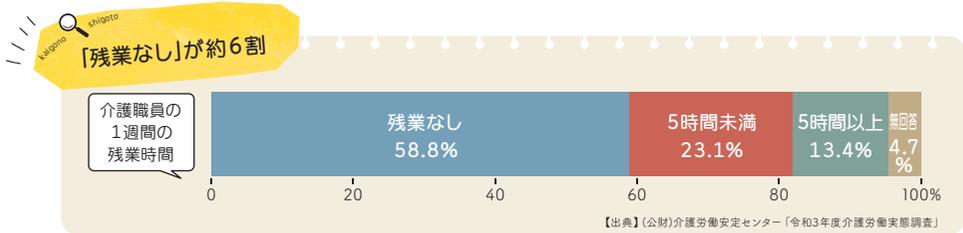


# 介護の仕事徹底分析

## 「残業なし」が約6割



保護者の方の一番の心配は、やはり身体的な負担ではないでしょうか。居住型の施設では職員が交替で勤務に当たり、24時間365日、利用者の方の暮らしを支えています。そのため生活が不規則となり、体力的な負担を感じることも確かにあります。ですが、生活を支える大切な仕事であるからこそ、十分な休養をとることができるよう配慮されています。例えば、県内の医療・福祉分野での年間休日は平均105.6日。全産業の平均105.5日と同程度です。また、介護職員を対象に1週間の残業時間を尋ねた調査では、「残業なし」という回答が約6割でした。夜勤を心配する声も聞きますが、夜勤明けにはしっかり休めるような勤務表が組まれており、また、デイサービスなど夜勤のない事業所もあるので、自分に合った働き方を選ぶこともできます。

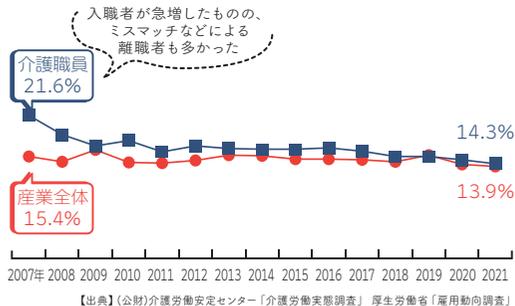


## 身体的な負担を軽減

今、介護の現場では、利用者を抱え上げない介護が浸透しつつあります。ベッドから車いすなどへの移乗は、体の下に専用のボードを敷いてスライドさせることで、力の弱い人でも無理なく安全に行うことができるほか、移乗のためのリフトやロボットスーツを導入する事業所もあります。また、ボディメカニクス(身体の動きのメカニズムを活用した介護技術)の体の使い方をしっかり身に付けることで、最小限の力で介助を行うことが可能となります。

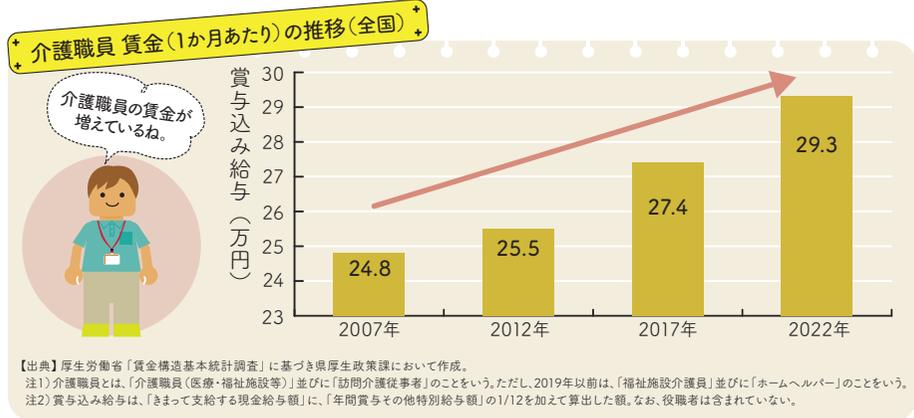
## 離職率の差はわずか

10年ほど前、介護の仕事は産業全体と比較してかなり離職率が高い状態でした。これは、業界の規模拡大に伴い入職者が急激に増加したことが影響していたと言われています。今では、職員の育成・定着のための取組に力を入れている事業者も多く、それほど大きな差は見られません。



# 介護職員の賃金は年々増加

「介護職員の賃金は低い」と聞いたことがあるかもしれません。確かに、介護の仕事のニーズが高まっているなか、一方で産業全体と介護職員の給与を比べると少し差があります。そのため、国では介護職員の給与水準を引き上げるための取組が進められています。月額最大3万7千円に相当する「介護職員処遇改善加算」のほか、経験・技能のある介護職員の賃金を引き上げる「特定処遇改善加算」や、基本給等のベースアップ等を図る「ベースアップ等支援加算」により、介護職員の賃金が高水準と遜色ない水準となるよう取り組んでいます。



## 働きやすい職場を県が認定



2017年、職員にとって働きやすい福祉事業者を県が認定する制度が始まりました。休暇の取得促進や仕事と家庭との両立支援制度の導入、給与体系の整備などに積極的に取り組み、一定の基準を満たした事業者を「いしかわ魅力ある福祉職場」として認定しています。

### 取組の例

<p><b>新人教育が充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規採用者研修</li> <li>新人教育担当者に対する研修</li> </ul>	<p><b>若者が将来像を描ける</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得のサポート</li> <li>キャリアアップの道筋整備</li> </ul>	<p><b>職員を大切にする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休暇の取得促進</li> <li>労働時間縮減の取組</li> <li>仕事と育児との両立支援</li> </ul>
--	--	--

認定事業所の取組等をより詳しく知りたい方はこちら!  
石川県介護・福祉の仕事の魅力発信ポータルサイト「いしふく」



## 介護の仕事の本質



介護の仕事は「食事や入浴、排泄などの身体的な介助を行うもの」と考えている方もいらっしゃると思います。それらはもちろん大切な仕事の一部ですが、仕事の本質は他にあります。介護を必要とする方の人生を快適で充実したものとしていけるかどうか。それは、介護に携わる人の手にかかっています。

例えば、介護がいわゆる3Kと言われる理由の一つと考えられる排泄介助について。自分でトイレに行けなくなりおむつを付けるようになった方が、介護職員の関わりで歩く脚をつける。または毎日の介護記録の集約により排泄の時間を分析し、介護職員がタイミングを合わせてトイレに誘導することで、おむつを外せた事例があります。

他にも、介助なしで食事ができなかった方が目標を持ってリハビリを続けた結果、自分の手で食事ができるまでに回復した例や、施設に入所され、病気を抱えて外出が難しい方の「一度でいいから家に帰りたい」という願いを、医療スタッフを交えてご家族と相談を重ね、叶えることができたという事例もあります。

介護を必要とする方が日々その方らしく暮らせるよう、介護職員は常に様々な工夫をしながら仕事にあたっています。

## 職員インタビュー

県内の介護施設で活躍している職員の方に、仕事への思いやプライベートについて聞きました！

※インタビューは2018年実施（役職等は当時のもの）

kaigono shigoto  
インタビュー

社会福祉法人眉丈会  
特別養護老人ホーム戸室和楽ホーム  
勝裕 健司 さん 施設長

### 施設長として職員との関わりで気を付けていることは？

当然ですが人には得意・不得意があります。当施設では、初めて社会に出る職員には先輩がマンツーマンでつき、指導しながらその人の得意な所を観察します。介護技術がまだ確かでなくても元気よく体操ができるとか、話が上手な職員は早い段階でご家族や地域の方に向けた活動をしてもらうか、自分の特技を活かした仕事をどんどん担当して、まずは人と関わる仕事の楽しさを感じてもらいます。技術は周囲がサポートできますし、後から追いつけますので心配りしません。

### 施設での人材育成の取組についてお聞きします

当法人では、2年前に職員の育成支援センターを立ち上げ、定期的な勉強会を通じて入職者をサポートしています。特に初めて社会に出る職員には、介護技術だけでなく社会人としても成長できるようなプログラムを設けています。今、施設の中だけでなく地域に目を向け、地域に出て活動する取組に力を入れています。介護職員は現場の仕事に集中しがちですが、地域に出ることが息抜きにもなるし、自分のやっている仕事の価値に気づくことにもつながります。例えば先日、地域の高齢者が集まるサロンに職員が出向き、いつも施設で行っている口腔機能(かむ機能や飲み込み機能など)を高める体操を地域の方々に体験していただきました。現場の職員はみんな専門知識を持っています。そうした専門性を地域全体の福祉に役立てられる活動を広げていきたいと考えています。

### 介護の仕事の魅力について教えてください

介護福祉士として働き始めた当初、「自分」一人で頑張るのではなく、人と人がお互いに支え合うことができ初めて福祉の仕事が完成する」と先輩に教わりました。入居者の方が私を頼りにしてくれと頑張れますし、そのおかげで私も元気がなれています。そうした人との関わりに魅力を感じ、今までの仕事を続けてきました。介護の仕事は幅広くさまざまなサービスがあります。仕事内容など不安に思うことがあっても、人と関わるのが好きという気持ちがあれば、きっとその人の適正に合った職場が見つかりますよ。



kaigono shigoto  
インタビュー  
独立行政法人地域医療機能推進機構  
金沢病院附属介護老人保健施設  
北川 裕美 さん 介護主任、施設ケアマネジャー

### 就職からこれまでの仕事について教えてください。

もともと介護の仕事に興味があり、介護福祉士の資格を取得できる短大に進学して介護福祉士として今の職場に就職しました。現在は現場での介護のほかにケアマネジャーの資格を取って利用者さんのケアプランを作る仕事も担当しています。また、ケアマネジャーになった後も、もっと勉強したいと思い、大学の通信課程で社会福祉士の受験資格を得ました。いずれは国家試験に挑戦するつもりです。

### 仕事のどのようところに魅力を感じますか？

ケアマネジャーの仕事はご家族と話をして利用者さんの今後やケアの方針を決めることがありますが、そのたびに大きな責任を感じています。当然ですが利用者さん本人が望んでいることやご家族が介護で困っている理由は人それぞれで、単純ではありません。介護の仕事は経験を積み積むほど奥が深く、自分のスキルをもっと磨かないといけないと感じます。同時に、常に自分の成長を感じられ、そこがやりがいでもあります。

### 仕事と家庭との両立について聞かせてください。

2年前に出産し、1年間の育児休業をいただきました。復帰後は短時間勤務制度を使いましたし、職場の皆さんが協力してくれるので、フルタイムに戻った今も夜勤や選番は免除していただいています。当施設では私以外にも育児休業を取る職員がたくさんいます。最近では妊娠や出産を理由に辞める職員はいないですよ。働き方はやはり変わりましたね。どうしても時間的な余裕がなくなるので。利用者さんやご家族との関わりにはしっかりと時間を確保しながら、例えば会議資料の準備や会議そのものを、時間を決めてきちっと終わらせるなど、かなり効率的に行っています。そして子どもとの時間を十分にこらえて、子育ても楽しんでいます！



kaigono shigoto  
インタビュー  
社会福祉法人福寿会  
特別養護老人ホーム 福寿園  
板本 真 さん ユニットリーダー・介護専門員

### 介護の仕事に就いたきっかけは何ですか？

私は転職して介護の仕事をはじめました。当時は、前職の業界がちょうど不景気の影響を受けていて、勤続10年目にして初任給と同じくらいにまで給料が下がってしまいました。しかもボーナスゼロ！また、就業時間が不規則で残業も多かったこともあり、これからの生活を意識して転職を決めました。介護職を選んだのは、成長産業として注目の分野で、何より生活の安定性を確保できると感じたからです。

### 仕事のやりがい、魅力について教えてください

たくさんあります！まずは、介護の仕事は成長産業でまだまだ伸び幅があるところ。自分の力で変えていけることが多くあります。次に、介護は「お世話」というイメージがありますが、それは一部にすぎません。大切なことは利用者さんがどんな生活を送りたいかを理解し、元気になるにたいてやりたいことを実現すること。そのお手伝いできたとき、うれしいを通り越して感動します。また、人間としてすぐ成長できる仕事です。対人援助やコミュニケーション能力、医療的な知識など、仕事を離れても必ず役に立つ人間力が高められることも魅力です。さらに、今後は介護業界でもグローバル化が進むと予想されます。日本の介護は世界の中でも先進的なので、人材の育成を通じた国際貢献にも興味を持っています。自分を高めることで世界へはばたくことができる仕事だと考えています。



### ご家族やプライベートについて聞かせてください

妻と子ども2人の4人家族です。介護の仕事は利用者の方へ最善のサービスを提供するため、職員も常に最高の状態でいないといけないと思います。そのため交替制となり、基本的に残業はありません。休日は年間120日あるので家族や趣味に十分な時間を使うことができます。趣味としてバイクやギター、レザークラフト、魚釣り、マラソンなど季節ごとに楽しんでいます。介護の仕事は収入面を心配されている方もいますが、夫婦共働きなら十分やっていけると思えます。景気に左右されずにボーナスもいただけますし、マイホームも建てられますよ！

